

防災スペシャリスト養成企画検討会

今年度(以降)の検討項目(案)

1. 有明の丘研修のリニューアル

- 応募の現状を踏まえた募集の見直し(早期の周知、対面研修の意義の PR、演習等実施状況の周知、新たな取組内容等の周知)
- 防災基礎コースのリニューアル(受講期間・定員、カリキュラム・必修科目の見直しによる講義時間の短縮)
 - …講義時間の短縮については、必修・選択に加え、選択必修も導入したコースの再編のあり方をコースワーキングで具体的に検討する。
- 防災基礎コース以外のリニューアル(コース内容の仕分け方法(統一的な視点・方法の整理)、コース横断的な検討体制(職位別担当 WG などの設置)・検討内容(「災害対策横断」、「組織運営入門」の検討も含む)
 - …災害対策5コースについては、今年度一部のコースについて職位別の単元設定・構成組み換えを検討し、15分ルール内で試作版を作成(一部撮り直し含む)し、検討
 - …上記成果を踏まえ、次年度以降、防災基礎コースや組織運営 4 コースのリニューアルを進める。
 - …職位別演習の実施については、共通でやるべきもの、分けてやるべきものについての考え方の整理、実施方法の考え方の整理
- 多肢選択テストマニュアル(案)の改善、防災基礎コース以外への多肢選択テストの適用(テスト作問)

2. 地域研修のあり方

- 地域研修の応募に広がりが見られない(R6 年度公募結果)。地域研修の実施実績のない、少ない都道府県での実施に向けた方策を検討
 - …地域研修の募集・選定方法の検討のため、募集結果の要因分析、研修実施の現状や地域研修に関する意向を調査
- 地域独自のカリキュラムの構築(コンサルティングシートによる現状と課題の把握、過去のカリキュラムの蓄積・整理)
- コンサルティングシートをもとに地域独自のカリキュラムを構築
- 地域で災害対応にあたる組織との連携体制の確立・強化(参加対象組織の整理(リスト化)、隣接都道府県や共同での応募の推進)
 - …関係機関の呼びかけ先を特定して実施自治体に示す。

3. 災害対応eラーニングの改善・整備

- 災害対応 eラーニングの意義・受講対象の整理。
 - …WBS の研修講義の副読本としての活用、災害発生時・応援派遣時に WBS が必要となる職員の範囲など
- 活用状況等の調査、好事例の周知・広報等
- 公開済みコンテンツの改善(事例や実務に関するコンテンツの充実)
- 新規コンテンツの作成
- コンテンツ整備の進め方、体制の提案

4. 人的ネットワークの活性化

- 有明の丘研修「オープニング交流会」「全体交流」をカリキュラムに位置付け
- 有明の丘研修受講者と他の既存コミュニティとの連携など
- 災害対応のために組織横断で交流を深めるしかけの構築・実施の整理
 - …有明の丘研修全体及び、各コースの人的交流のねらいを踏まえて検討
(取り組み例)
 - 同一自治体部局横断ペア受講(例:被災者支援＝防災・保健福祉、警報避難＝防災・土木、資源管理＝●●県トラック協会＋防災)

5. 研修指導要領

- 有明の丘研修リニューアルの成果や研修・演習内容と連動した構成・内容の見直し・更新
- 研修指導要領の活用方策の検討(指導要領に準じた研修の促進など)

6. 能力評価

- 多肢選択テストマニュアル(案)の改善、防災基礎コース以外への多肢選択テストの追加(テスト作問)(再掲)
- テストによる能力評価の考え方(テストの出題形式、作問方法、整備方法等)
- 能力評価と紐づけた人材活用のあり方(修了者へのインセンティブの付与、他制度との連携)
- 災害に対応できる組織とその評価のあり方(人材の適切な活用で防災力向上)